

# ほけんだより12月

2021.12.1 尼崎市立武庫東中学校 保健室



早いもので、今年も残り1ヶ月となりました。みなさんはどんな1年でしたか？  
今年の目標は何か達成できましたか？できたことも、あと一歩足りなかったことも、目標に向けての頑張りは、きっとみなさんを成長させてくれています。自分の頑張りを振り返って、いい1年の締めくくりをしましょう。

冷え知らずを  
めざそう！

## 4つの 冷え対策

### 1 適度な運動で筋肉を鍛える

体の熱の多くは筋肉で作られます。背中やお腹などの大きな筋肉を鍛えると冷え対策に。ふくらはぎを鍛えると、血流がよくなり、熱量がアップします。

### 2 たんぱく質をしっかりとる

食べ物を消化・吸収するときには、熱が作られます。特にたんぱく質は熱にかかりやすいので、肉や魚をしっかりとりましょう。

### 3 冷えから体を守る服装選びを

血流が妨げられるときには、冷えの原因に。タイトな服やきつい靴は避けましょう。ガマンの薄着も要注意。上手な重ね着で暖かく、りとりましょう。

### 4 お風呂タイムで冷えにくい体に

湯船で体を温めた後「ぬるいお湯や水を手足にかける」。これを数回くり返します。お風呂から上がった後も体が冷えにくくなりますよ。

いよいよ本格的な寒さになってきました。この頃保健室では、冷えから腹痛を起こし、来室する人が増えています。常に換気をしていて、外の冷たい空気が入ってきますが、上手に冷え対策を行い、冬も元気に過ごしましょう。



## 手洗いは ココに注意！

手の甲

手のひら



- 注意して洗おう
- 少し念入りに洗おう
- かなりがんばって洗おう



## 歯科校医さんからのお便り

10月号のほけんだよりに引き続き、今月は歯科校医の杉本先生がお便りをくださいましたので、掲載します。校医さんからのアドバイスを参考に、「歯と口の健康」について見直してみましょう。



唾液の大切な役割を知っていますか？

唾液はその99%が水分で、残りの1%は抗菌作用、免疫作用、消化作用に関わる成分が含まれています。

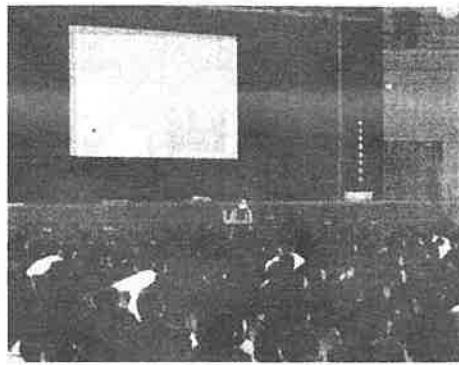
唾液の働き

- ① 抗菌作用：免疫グロブリン、リゾチーム、ラクトフェリンが口腔内に侵入してきた細菌やウイルスを退治して、感染から体を守ります。
- ② 消化作用：唾液に含まれるアミラーゼという酵素がでんぶんを分解して糖にしてくれます。とろみのついた麺類を食べていくとスープがサラサラになっていくのは唾液中のアミラーゼの作用です。
- ③ 自浄作用：歯や歯肉などについた食べかすやプラーク（歯垢）を洗い流す作用。
- ④ 粘膜保護・潤滑作用：粘性のあるムチンという物質が粘膜を保護し、潤し、食べ物を飲み込みやすくしたり、舌運動や会話をスムーズにします。
- ⑤ 緩衝作用：唾液中の重炭酸イオンが飲食後に酸性に傾いた口腔内を中性に戻し、虫歯になりやすい環境を改善してくれます。飲食後に酸性に傾くと歯のエナメル質は一時的に溶け始めますが重炭酸イオンがそれを抑制して、いわゆる再石灰化をしてくれます。虫歯を防ぐ作用が唾液にあるのです。

このような重要な作用が唾液にはあります。唾液の量が減少していくとそれらの作用も低下していきます。唾液は1日に1~1.5リットル分泌されると言われています。唾液を十分に分泌させるためには

- ① 水分をしっかり摂取する。約2リットルの水分をとるといいでしよう。
- ② よく噛む。よく噛むことで唾液腺を刺激して唾液の分泌を促します。
- ③ タンパク質をよく摂る。唾液の水分以外の約1%の成分のほとんどがタンパク質です。消化酵素、ホルモン、抗菌物質など有機成分はタンパク質を材料として作られます。タンパク質をあまり摂らず、炭水化物主体の食事だと、唾液が十分に作られません。タンパク質を意識した食事が大変重要だと言えます。
- ④ 唾液腺をマッサージする。指先で耳の下にある耳下腺、顎の下にある頸下腺、舌下腺をマッサージして刺激し、唾液分泌を促しましょう。

唾液が減少することで、虫歯、歯周病になりやすくなります。細菌やウイルスにも抵抗できなくなるので、風邪にかかりやすくなったり、その他多くの体の不具合が生じます。そのため、ブラッシングで口腔内はいつも清潔にする、唾液を十分に分泌させることを日頃の生活で意識して欲しいと思います。



## 保健教育講演会

3年生対象に、産婦人科医の横田先生に「性」についてお話を聞いていただきました。10代で起こる体と心の変化、自分の身の守り方などを学びましたね。お話の中にあったメッセージも、紹介します。

- ・あなたの体はあなたのものです。  
(でも検診や身体検査のときには、しっかりみせてほしいです)
- ・気持ち、心もおなじことがいえます。



### きちんと知ろう エイズのこと

#### エイズって何?

A HIV (ヒト免疫不全ウイルス)  
に感染することによって起こる病気。でも、HIV感染=エイズではありません。適切な治療で、エイズ発症を予防できます。

#### どうやって感染するの?

A 性行為による感染、血液を介した感染、母子感染などです。一緒に食事をする、タオルを共有する、同じトイレを使うなど日常生活の中では感染しません。

#### 感染の心配があるときは?

A 保健所や病院などで検査が受けられます。保健所では、名前や住所を知らせず、無料で検査できます。予約が必要な場合もあるので、事前に確認を。



2枚の絵を見くらべて

## 7つのまちがいをさがそう!!



こたえ…左の女の子の耳の位置/ベンチの下の影/左奥の枯れ葉の向き/中央左の男の子のシャンパンの取っ手/すべり台の長さ/中央右の女の子のバッグの大きさ/右の男の子のシャンパンの取っ手/左の男の子のシャンパンの取っ手/右の男の子のシャンパンの取っ手



## 11月の紙パック回収枚数

みなさんのおかげで、11月は 1821枚 集まりました。ご協力ありがとうございます。代表して、1位から3位までのクラスを発表します。

**1位 2年2組 265枚**

**2位 2年5組 208枚**

**3位 3年5組 162枚**

次の回収は12月13日(月)です。

またご協力よろしくお願ひいたします。



## 保護者の方へ ~インフルエンザの「出席停止」について~

2020年度はインフルエンザの感染者が全国的にも極めて少なく、流行は起きましたが、警戒すべき感染症であることに変わりはありません。お子さんがインフルエンザに感染・発症した場合の出席停止基準について、あらためてご確認をお願いいたします。

学校保健安全法では「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」出席停止とされており、以下の表のようにまとめることができます。なお、「登校可」となってもお子さんの回復の様子などを充分に考慮し、必要に応じて医師ともご相談のうえ、登校の可否を判断いただければと思います。



経過日数	0日 (発症した日)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
2日間	○	○	○	○	○	○	○	○
3日間	○	○	○	○	○	○	○	○
4日間	○	○	○	○	○	○	○	○
5日間	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 発熱 ○ 解熱 □ 登校可

※「発症した日」は発熱した日をさします。



## 1年のじめくくりに 部屋の片づけをしよう

～運動不足解消と清潔な環境づくり～



## 1年のじめくくりに 部屋の片づけをしよう

～運動不足解消と清潔な環境づくり～

